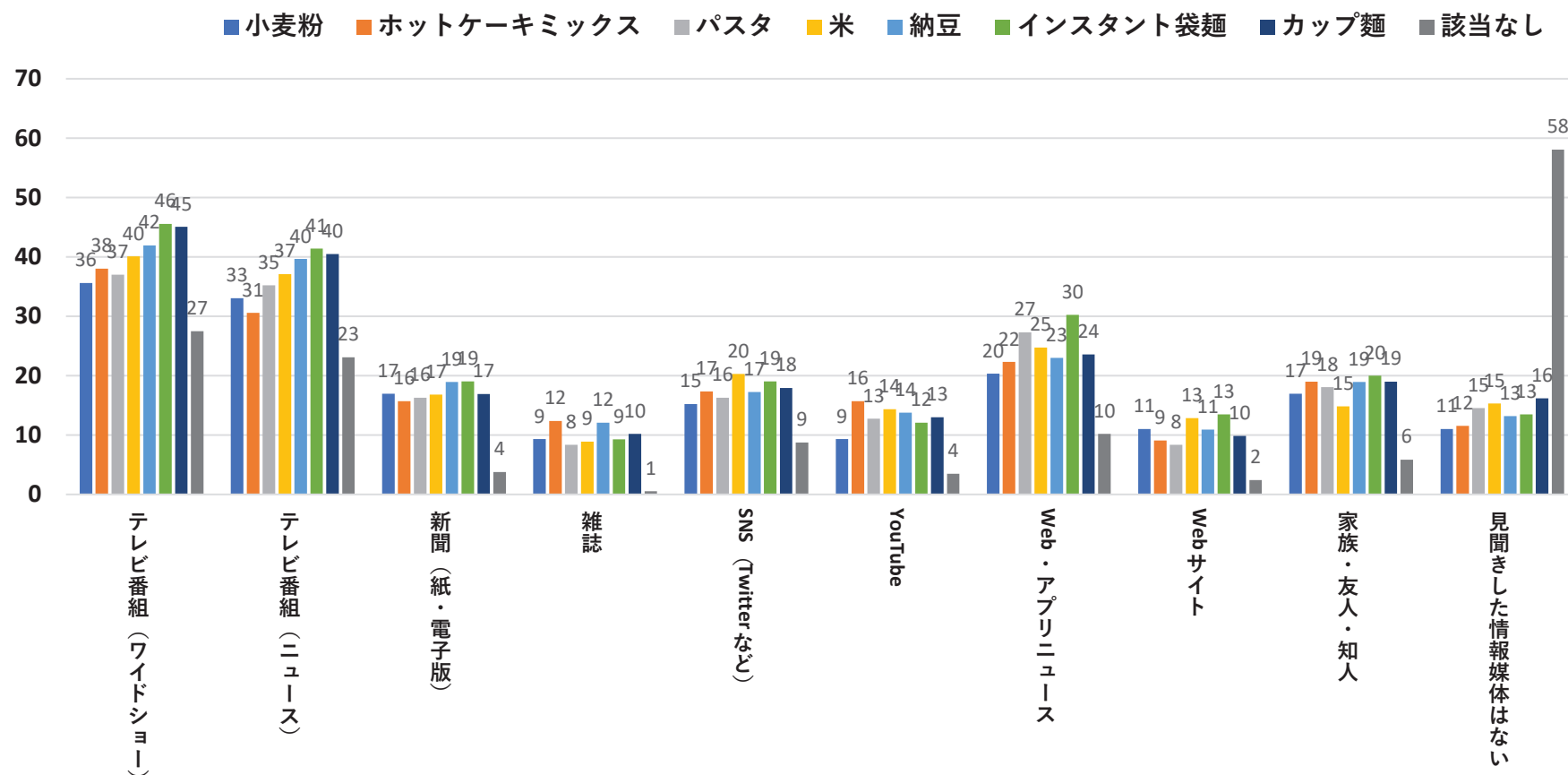


購買行動と情報受発信との関係の調査・分析

第2回目の緊急事態宣言前後では、買い増し行動のきっかけになる情報は、テレビ番組での見聞きは小麦粉やパスタ等を中心に低くなっている。

商品を普段より多く購入したくなるような情報を見聞きした情報媒体 (第2回緊急事態宣言前後)

Q.商品を普段より多く購入したくなるような情報を見聞きしたことがありますか。見聞きした情報媒体についてあてはまるものをすべてお知らせください。

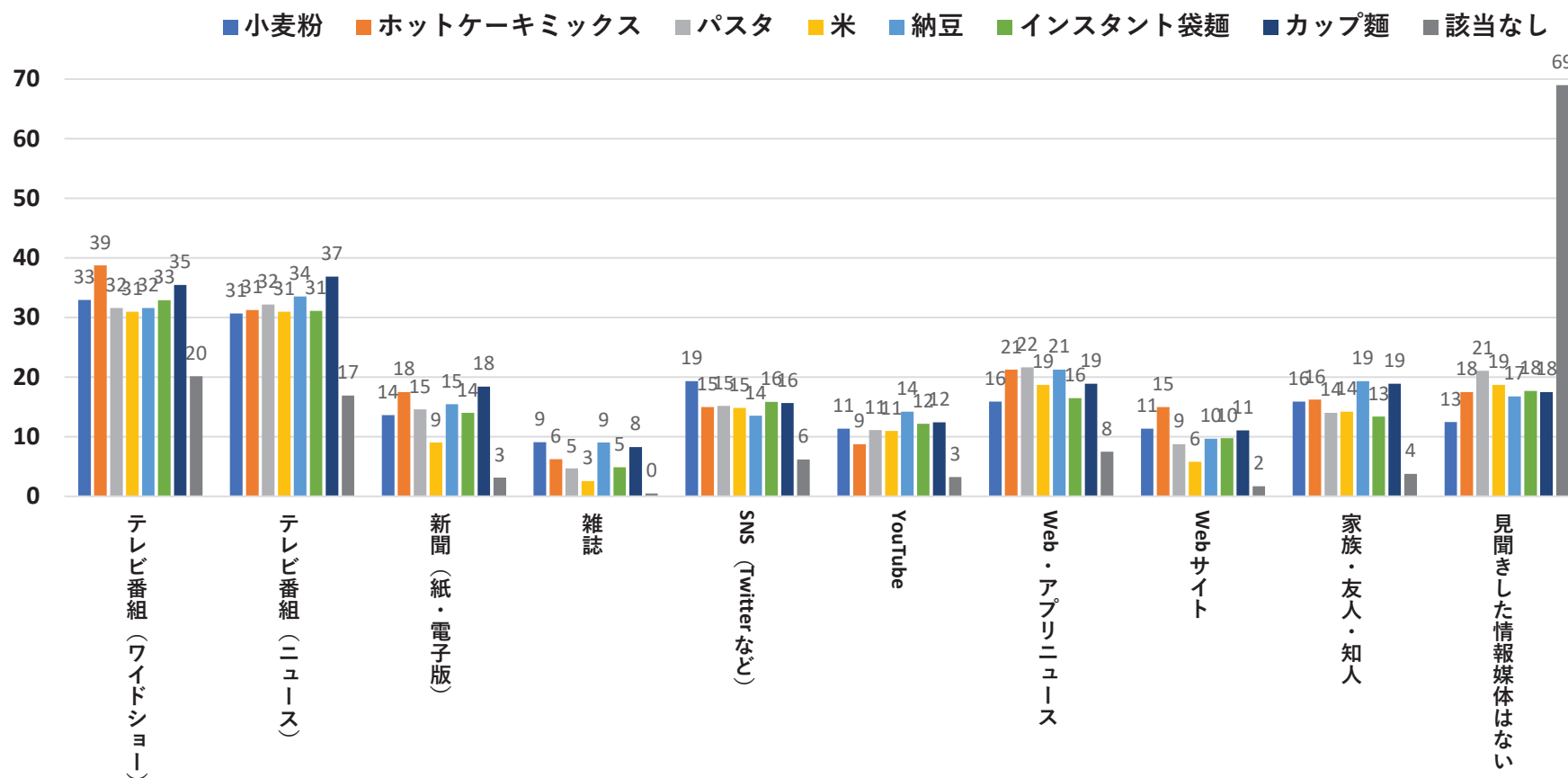


購買行動と情報受発信との関係の調査・分析

第3回目以降では、多くの商品において、買い増し行動のきっかけになる情報が少なくなっている。特に買い増し行動を起こしていない人は、7割の人が見聞きした情報がないと回答。

商品を普段より多く購入したくなるような情報を見聞きした情報媒体 (第3回緊急事態宣言前後)

Q.商品を普段より多く購入したくなるような情報を見聞きしたことがありますか。見聞きした情報媒体についてあてはまるものをすべてお知らせください。

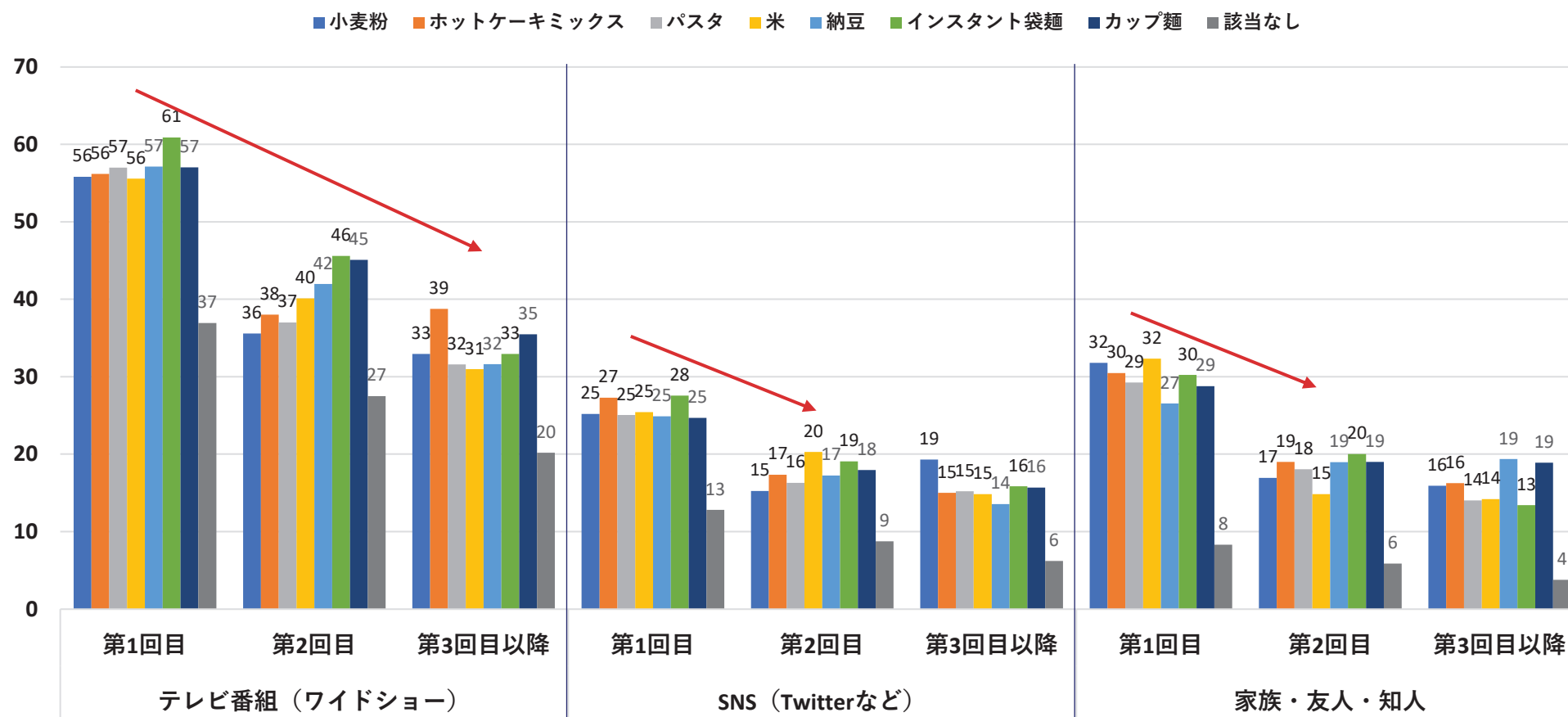


購買行動と情報受発信との関係の調査・分析

テレビに関しては第1回目より第2回目、第3回目の方が少なくなっている。SNSや口コミも下がっているものの、第3回目では現状は僅かであり、情報媒体として想定的に高くなっている。

商品を普段より多く購入したくなるような情報を見聞きした情報媒体 (テレビ、SNS、家族・友人・知人) のタイミングごとの比較

Q.商品を普段より多く購入したくなるような情報を見聞きしたことがありますか。見聞きした情報媒体についてあてはまるものをすべてお知らせください。

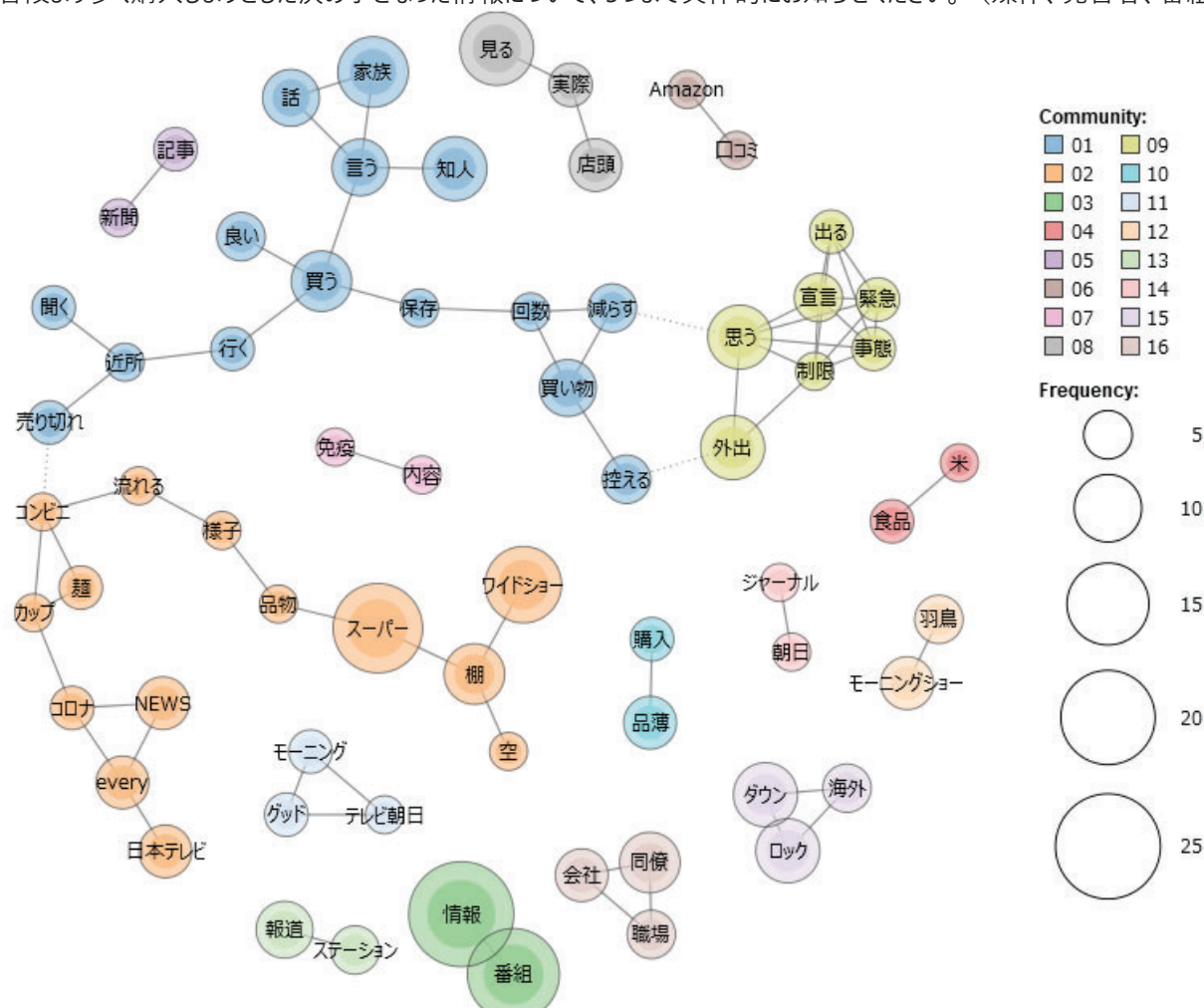


購買行動と情報受発信との関係の調査・分析

テレビのニュースやワイドショーの情報がきっかけなる。内容面では緊急事態宣言による行動・外出制限に伴う買い物回数を控えることが多い。海外のロックダウン状況なども影響した。

普段より多く購入しようとしたことの決め手になった情報（第1回緊急事態宣言期間前後）

Q.あなたが、商品を普段より多く購入しようとした決め手となった情報について、5つまで具体的にお知らせください。（媒体、発言者、番組名、情報内容）

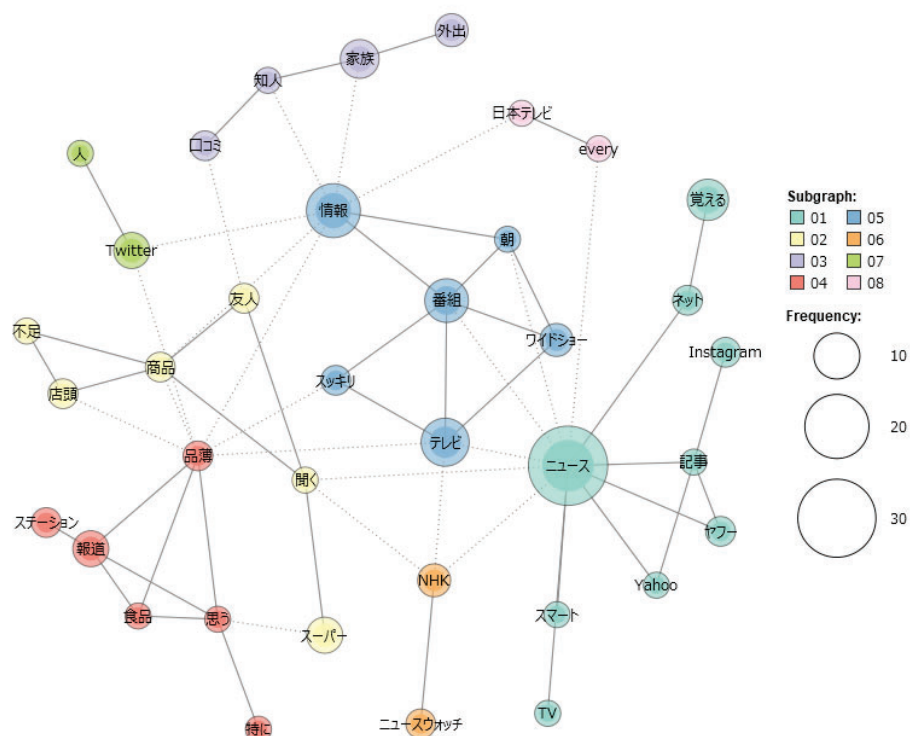


第1回緊急事態宣言時と比較すると、第2回目、第3回目は決め手となった情報源は少ない。

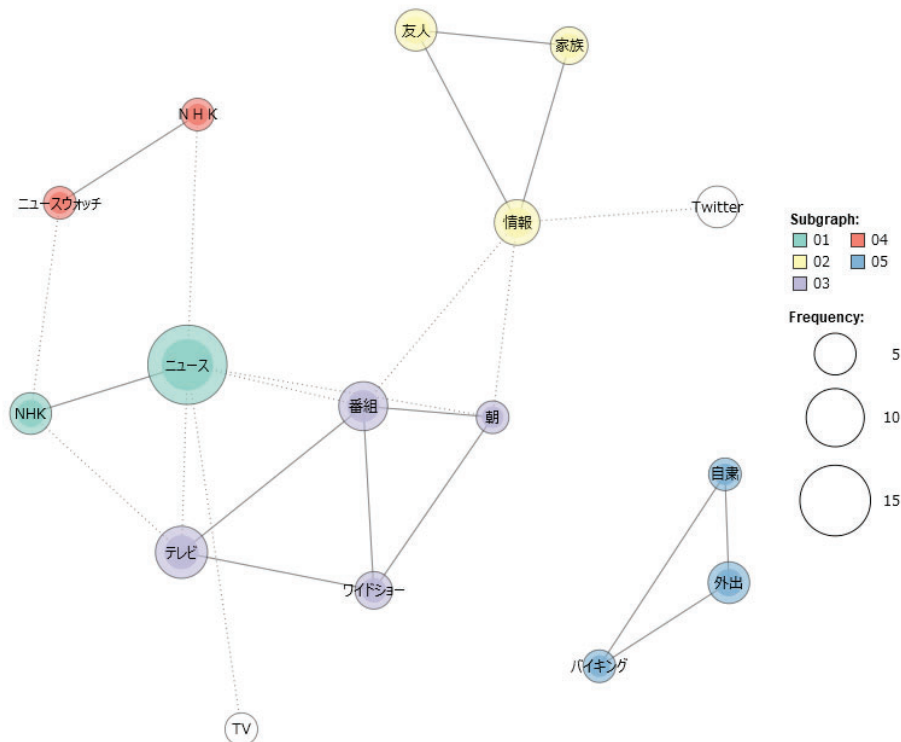
普段より多く購入しようとしたことの決め手になった情報

Q.あなたが、商品を普段より多く購入しようとした決め手となった情報について、5つまで具体的にお知らせください。（媒体、発言者、番組名、情報内容）

第2回緊急事態宣言前後



第3回緊急事態宣言以降



食料の供給情報において有益だと思える情報での提示事例

画像1.政府による冷静な購買行動の要請

国民の皆様へ

食料品についてお願い

食料品は、十分な供給量を確保しているため、安心して、落ち着いた購買行動をお願いいたします。



- ・ 食料品は必要な分だけ買うようにしましょう。
- ・ 過度な買いだめや 買い急ぎはしないでください。
- ・ 転売目的の購入 はしないでください。

令和2年3月30日 江藤農林水産大臣メッセージ

食料品についてお願い(PDF: 127KB)

画像2.小売価格の動向

■ 食品価格動向調査(野菜)の調査結果

◆ 令和3年8月2日の週【8月2日～8月6日】の調査結果 (全国平均)

- ・ 調査対象8品目の価格は、前週比で-2%～+7%、平年比で-15%～-1%の範囲内となっています。

(単位: 円/kg)

品目		キャベツ	ねぎ	レタス	ばれいしょ	たまねぎ	きゅうり	トマト	にんじん
令和3年 8月2日の週	価格	148	744	400	379	255	461	613	391
	前週比	102%	99%	107%	98%	103%	99%	98%	104%
	平年比	88%	89%	86%	90%	90%	85%	99%	87%

注1: 各都道府県10店舗(全国470店舗)について訪問調査。

注2: 価格は特売価格等含まない消費税込価格で、全調査店舗の単純平均(小売価格の全国平均値)である。

注3: 平年比とは、平成28～令和2年度の食品価格動向調査業務による当該月の調査価格の5カ年平均価格と比較したものである。

注4: <令和3年>以下の期間、都道府県で調査を中止したことから、それぞれ前週の値とは接続せず、前週比及び平年比は参考値である。

1月11日の週: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
1月18日の週: 1月25日の週、2月1日の週: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、岐阜県、栃木県、福岡県
2月8日の週、2月15日の週、2月22日の週: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、岐阜県、福岡県
3月1日の週、3月8日の週、3月15日の週: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
4月26日の週、5月10日の週: 東京都、大阪府、兵庫県、愛知県、福岡県、北海道、岡山県、広島県
5月17日の週: 東京都、大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、福岡県、北海道、岡山県、広島県
5月24日の週、5月31日の週、6月7日の週、6月14日の週: 東京都、大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、福岡県、北海道、岡山県、広島県、沖縄県
6月21日の週、6月28日の週、7月5日の週: 沖縄県
7月12日の週、7月19日の週、7月26日の週: 東京都、沖縄県
8月2日の週: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、沖縄県
<令和2年>以下の期間、都道府県での調査を中止したことから、それぞれ前週の値とは接続せず、前週比及び平年比は参考値である。
4月13日の週: 東京都、大阪府、埼玉県、千葉県、神奈川県、兵庫県、福岡県
5月11日の週: 東京都、大阪府、北海道、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県
5月18日の週: 東京都、大阪府、北海道、埼玉県、千葉県、神奈川県、京都府、兵庫県
5月25日の週: 東京都、北海道、埼玉県、千葉県、神奈川県

画像3.小売店や製造メーカーの対応状況

東京都の外出自粛要請に伴う食料品の品薄状態への対応状況 (3/26)

食品小売・卸の対応

【スーパーマーケット】

- メーカー・卸からは増産の対応をすくと聞いている。物流の協力もいただき、お客様にご安心してお買い物をしていただけるよう、商品が届き次第ご提供したい。
(日本チェーンストア協会)
- 商品の供給につきましては、メーカー・卸から増産の体制を整えて対応すると聞いている。可能な限り食品の安定供給に努めてまいる。
(日本スーパーマーケット協会)

製造メーカーの対応



- ・在庫は十分にある。
- ・現在、平時の2～3割増の増産体制を敷いている。状況に応じて、さらなる増産も可能。



【冷凍食品】

- ・在庫は十分にある。
- ・現在、流通からの発注は伸びているものの在庫で十分対応可能。



【バスケット】

- ・在庫は十分にある。
- ・現在、平時の1～2割増の増産体制を敷いている。

【食品卸】

- メーカーはしっかり増産をすくと聞いているので、小売からの注文に応じてしっかり供給していく。
(日本加工食品卸協会)



【レトルト食品】

- ・在庫は十分にある。
- ・現在、平時の5割増の増産体制を敷いている。
- ・原料についても潤沢な状況。



【パン】

- ・注文に応じて生産。現状、首都圏の工場は約8割の稼働率であり、今後注文が増えても増産余力がある。
- ・仮に、増産で対応できなくなった場合でも、他地域からの転送、品目を絞った特別な増産を行うなど、万全の供給体制を敷いている。

農林水産省 食料産業局 / Food Industry Affairs Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

画像4.農産物の輸入状況に関する情報

食料供給情報

食料品は十分な供給量・供給体制を確保しています。
小麦や小麦の備蓄についても十分な量が確保されています。
海外からの輸入が滞っているということもありません。



4月8日輸入小麦の供給情報 千葉共同サイロ株式会社